

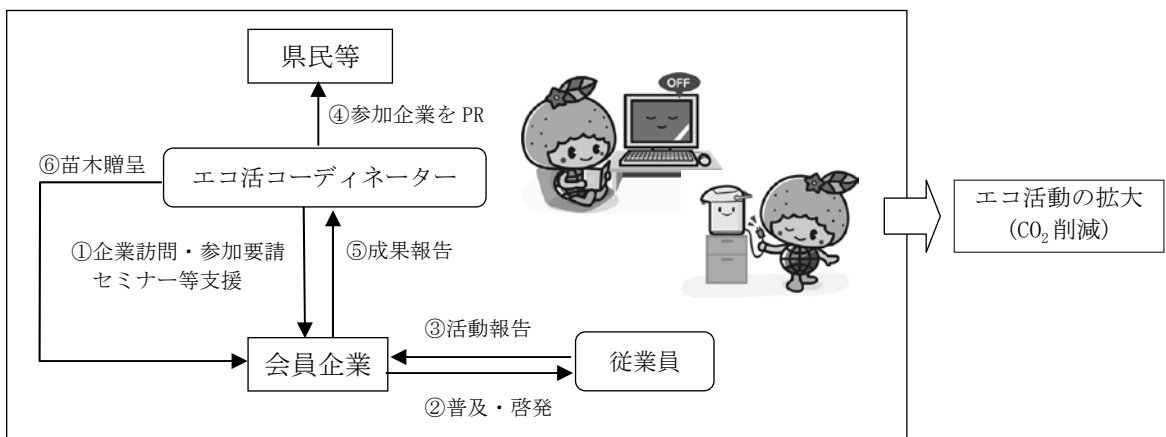
主 な ト ピ ッ ク ス

えひめ CO₂ 削減エコ活動コーディネーター事業

地域連携・提案型重点分野雇用創出事業を活用し、企業が従業員に対して行う家庭でのCO₂削減活動(電気、ガス、水道使用量の削減)取組みの支援等を行っています。

平成23年9月21日時点で、527事業者、12,069世帯の参加表明があり、事業開始からこれまでの取組で79,036.8kgのCO₂削減効果が報告されています。

<http://ameblo.jp/ecokatsuehime/>



えひめ環境大学の開催

愛媛県環境創造センターは、これからの望ましい環境創造のための先進的技術開発や施策展開を、総合的かつ計画的に企画・立案、実施するため、平成12年4月、環境科学分野の第一人者である立川涼氏を所長に迎えて設立し、平成23年4月からは、環境分野における豊かな学識経験、本県の環境に関する深い見識を持つ森田昌敏氏を新たに所長に迎え、引き続き先進的な環境技術の開発や環境政策の企画・立案等に取り組んでいます。

えひめ環境大学は、県内在住の環境関連実務者や環境保全活動者などを対象に、より高度な環境知識の修得を図り、地域の環境活動リーダーとして育成していくため、平成13年度から環境創造センターが実施しており、平成23年度は、「喫緊の環境課題(エネルギーと生物多様性)」を総合テーマに、エネルギーや生物多様性の分野における国内最先端の専門家や学識経験者を講師に迎え、愛媛大学において5回の講座を開催しました。

受講者は、延べ567名で、5回講座のうち、4回以上出席された94名には、修了証書を授与しました。

開催日時	演 題	講 師
7月2日(土) [13:30~16:00]	3・11後の自然と共存する地域社会 -石油ピークと「日本のプランB」-	東京大学 名誉教授 石 井 吉 徳
7月9日(土) [13:30~16:00]	太陽光発電の現状と技術の動向	独立行政法人産業技術総合研究所 太陽光発電工学研究センター 副研究センター長 仁 木 栄

7月16日(土) [13:30~16:00]	21世紀社会の エネルギーと電気自動車	慶應義塾大学環境情報学部 教授 清水 浩
7月23日(土) [13:30~16:00]	我が国の生物多様性 —どう調べ、どう守る?—	財団法人休暇村協会 常務理事 笹岡 達男
7月30日(土) [13:30~16:00]	喫緊の環境課題 (まとめと総合討論)	愛媛県環境創造センター所長 森田 昌敏



愛媛県海岸漂着物対策推進地域計画の策定

本県海岸の良好な景観や保全を図るため、海岸漂着物処理推進法に基づき、海岸漂着物対策を重点的に推進する区域及びその内容、関係者の役割分担と相互協力に関する事項等を定めた「愛媛県海岸漂着物対策推進地域計画」を平成24年1月に策定しました。

◇基本理念

「人々に潤いと憩いを与える愛媛の美しい海岸をみんなで守る」

○基本方針

- ・海岸漂着物等の円滑な回収及び処理の推進
- ・海岸漂着物等の効果的な発生抑制の推進

【重点区域】

① 二名海岸(四国中央市)	⑦ 塩屋海岸(松前町)
② 荷内東海岸、荷内海岸、荷内西海岸(新居浜市)	⑧ 高野川漁港(伊予市)
③ 国分寺海岸(今治市)	⑨ 塩成漁港(伊方町)
④ 佐島西海岸(上島町)	⑩ 諏訪崎海岸(八幡浜市)
⑤ 長師漁港、宮野海岸(松山市)	⑪ 平井漁港(宇和島市)
⑥ 池ノ淵海岸(松山市)	⑫ 須ノ川海岸(愛南町)

廃家電等不法投棄防止集中対策事業の実施

平成23年7月24日にアナログ放送が終了することから、ブラウン管型テレビから地上デジタル放送に対応したテレビへの買換えが急速に進んだが、それに伴い、ブラウン管型テレビの不法投棄の増加が懸念された。

そのため、県と市町が連携し、不法投棄の未然防止を目的としたパトロール活動を強化するとともに、出発式やパトロール車からの呼掛けなどを通して、県民への不法投棄防止の啓発を行った。

実施期間：5月30日～8月31日



生物多様性えひめ戦略の策定

本県は、生物多様性基本法第13条に基づく生物多様性地域戦略として、暮らしの中での生きものとのつながりである「内なる生物多様性」を県民一人一人が見出し、将来に守り伝え、その恵沢を将来にわたって享受できる社会の実現を目的とする、生物多様性えひめ戦略を平成23年12月に策定しました。

◇目指すべき将来像

「100年先も 生きものみんな やさしい愛顔（えがお）」

海、山、川、里地、里山、里海など多様な自然環境のもと、魅力と活力に満ちた農林水産業やものづくりが営まれている愛媛の地域特性を踏まえ、将来にわたって生物多様性の恵みを楽しみ、人と自然が共生し、豊かな自然と文化が守り育まれる、100年先も、人を含め生きものみんなが「やさしい愛顔」でいられる社会の実現を目指します。

◇目標の内容

- ・生物多様性の保全と管理
(多様な生きものを守り、生息・生育地の生態系を保全・再生し管理していくことを目指す。)
- ・生物多様性の恵みの持続可能な利用
(社会経済的な仕組みを取り入れた生物多様性の恵みの持続可能な利用を目指す。)
- ・多様な人々の連携・協働
(多種多様な人々が連携・協働しそれぞれの役割を果たすことを目指す。)

◇具体的な行動計画

県民総ぐるみで「内なる生物多様性」を守り伝え発展させていくために、『伝えていこう！生きものの恵みと愛媛の暮らし』をテーマとして、「①生物多様性の保全と管理」、「②生物多様性の恵みの持続可能な利用」、「③多様な人々の連携・協働」について計画的に推進します。

◇今後5年間で実施する具体的な重点施策

- ・えひめの生物多様性パワーアッププロジェクト
- ・えひめの生物多様性認識度3割アッププロジェクト

◇本戦略を推進する新たな組織

本戦略を推進するにあたり、えひめの生物多様性保全推進協議会（仮称）、えひめの人と生きもの学会（仮称）、生物多様性センター（仮称）、生物多様性保全推進庁内連絡会議の新たな設置を進めます。

石鎚山クリーンアップ事業【三浦保愛基金事業】

石鎚山系の自然環境の保全と適正な利用を図るため、関係市町、山岳関係団体、自然公園指導員、自然保護指導員などの協力を得て、「石鎚山クリーンアップキャンペーン」を実施しました。

◇活動範囲

石鎚国定公園

◇実施期間

平成 23 年 9 月 17 日（土）～11 月 30 日（水）

◇主な内容

- ・ 登山口でのマナーガイドや携帯トイレ普及チラシの配布、登山口トイレの使用推奨
- ・ 自然公園指導員、自然保護指導員の協力による重点パトロール
- ・ 登山道での清掃活動
- ・ 第 1 回石鎚山ヒルクライム（平成 23 年 10 月 2 日）

特に、石鎚山で問題となっている登山道脇でのし尿の排泄に対処するため、「携帯トイレデー」を実施し、登山者への意識啓発等を行いました。

◇実施日時

平成 23 年 9 月 23 日（金）10：00～13：00

◇実施内容

- ・ 山頂及び三の鎖横にあるトイレの閉鎖
- ・ 山頂及び二の鎖横に携帯トイレ仮設ブースの設置
- ・ 土小屋登山口で携帯トイレの無料配布
- ・ アンケート調査

福島第一原子力発電所事故による県内影響監視調査について

平成 23 年 3 月 11 日に東北地方太平洋沖地震による東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故が発生し、放射性物質が外部へ放出されたことから県内への影響を把握し、安全を確認するため、空間線量率、大気浮遊じん等について監視強化を行っています。

これまでに、大気浮遊じん等の環境試料から、福島第一原子力発電所事故の影響とみられる人工放射性核種が検出されていますが、いずれも微量であり、人体に影響があるような放射線線量率及び放射性物質濃度は認められていません。（詳細は第 2 部第 6 章第 8 節を参照）